

「深丘園」建替事業計画について

中村ふじ子



深丘園

問 計画の範囲内での式場併設はできないか。

答 深丘園は、施設全体に老朽化が進み、使用の限界に達しています。今回の計画では、近隣住民の理解が得やすい火葬施設として早急な建て替えを考えております。

問 火葬場のみとするのではなく、通夜、告別式ができますとの市民の選択の窓口を開けておくことはできないか。

答 今回の計画により葬儀式場を併設しないことが、将来にわたり葬儀式場建設の是非を問うものでないため、その必要性、建設場所、施設概要及び運営内容などにつきまして

上柴地区における交通安全対策について

柴崎重雄



上柴中央踏切

問 上柴地区より高崎線を渡ってすぐの右折に終日禁止と時間制限が設けられている。熊谷方面、籠原駅方面を利用する市民が増えている現在、見直しは考えられないか。

答 右左折の制限解除による事故誘発と利便性について検討いたしました。制限解除は困難な状況です。

問 フリーモント通り手押し信号機の見直しと上柴東小角の交差点に信号設置と上柴東地区内の事故多発交差点の標識改善について聞きたい。

答 関係各位に要望もしくは協議検討を図り改善し、交通安全に努めてまいります。

西通り線問題について

栗原征雄

問 西通り線まちづくり協議会設置について、2回の準備会を開催したが、その後の動向は。

答 この準備会は、関係地元自治会長、地元市議会議員、埼玉県、深谷市で構成し、会議を重ねております。現在までに、協議会の委員選出を、各自治会にお願いし、この協議会の設置に向け、第3回目の準備会を予定しております。一日も早く協議会を設置できるように努めてまいります。

問 新市建設計画の中で、西通り線を新市の中央通り線として位置づけているが、どんな整備計画を考えているのか。

深谷造兵廠の歴史を風化させないために

宇多村春恵



は、地元の合意形成を図り、現在埼玉県と同時に実施する計画となっております。

問 戦時下旧東京第二陸軍造兵廠の疎開工場として、明戸、深谷、櫛挽製造所は重要な軍事施設であったが、語り継ぐべきではないか。

答 深谷造兵廠は3箇所に分散し火薬製造などを行ってきたと伝えられるが、建物の詳細な記録はありません。後世に伝える歴史的意義があり、広報で知らせたり市民の反響・要望があれば専門家による講演の機会も検討します。

問 深谷製造所跡に国の登録有形文化財に指定された建造物があるが、史跡めぐりコースに入っているのか。県内には106件が指定されていると聞くが。

答 旧東京第二陸軍造兵廠深谷製造所給水塔の名称で周辺の施設に給水をしていました。平成15年1月15日付けで国の指定になっていますが、個人の所有ですのでプライバシーの観点からも、見学は難しいと思います。

学校給食は最高の食育教育

問 第1回全国学校給食甲子園―地場産物を活かした自慢料理への参加は。

答 給食を通じて郷土料理を競い食育を啓発する目的で平成18年第1回です。全国1514校が応募。第1位は長野県の長谷学校給食共同調理場でした。埼玉県は100校、深谷市は5校が参加、ホウレン草入りかき揚げ、深谷ネギのナムル、地場産野菜を使用した献立でした。

問 全小・中学校で地場産の食材で共通の給食の日を提案。煮ぼうとうや重忠汁などの郷土料理が作られています。



子どもたちの安全確保について

問 児童・生徒の安全確保について、蕨市を視察してきたうえで、深谷市の現状と新たな取り組みについて聞きたい。

答 学校では防犯教室、防犯訓練、地域安全マップの作成によって子どもたちの危険回避能力の育成や地域の方々とのパトロールを行っております。また警察官OB2名のスクールガードリーダーを配置し、巡回指導を行っております。今後とも地域社会全体で子どもを見守る体制を関係各位にお願いしてまいります。

道路行政の位置づけは？

小島 進

問 深谷地区の西通り線について聞きたい。

答 数十年前からの計画ですが、地域住民の合意形成がまとまっておりません。

問 岡部地区のコスモス街道西の延長について聞きたい。

答 県道として整備するため、県と調整を図ってまいります。

問 川本地区の深谷・嵐山線、秩父鉄道アンダーパスについて聞きたい。

答 県の工事として、国道140号バイパスから国道までと、国道から植松橋までの二期に分けて実施する予定です。

問 花園地区の小前田・児玉線の秩父線立体について聞きたい。

答 区画整理事業と並行して県に要望してまいります。

問 以上のような幹線道路計画を進めるにあたり、問題点は、住民の合意形成と財政、県との協議等があるが、もっと積極的に取り組むべきと考えるが。

答 もちろん、私もそう考えております。



コスモス街道

問 財政面では合併特例債を有効に使っていくべきと考えるが。

答 慎重に検討してまいります。

問 合意形成の部分では、まずは政治に携わっている市長、市議、地元県議、地元国会議員が、同じ方向を向いて取り組まないと、事業がなかなか前に進まないのではないかと。